

令和7年仕事納め式 町長訓示

いよいよ仕事納めの日になりました。今年1年を振り返ってみると、色々なことがございましたが、私どもの町におきましては、一昨年の集中豪雨、線状降水帯による59年ぶりの水害、そして昨年1月1日の能登半島地震、そして、今夏の水害と毎年のように災害が発生しております。これを石川県全体や全国で見ると、とてつもない数の災害が発生しているわけでございます。

我々役場で働く人間にしてみると、町民37,500人の生命・財産をしっかりと守らなければならない役割がありますので、そういう意味では今年1年も皆様のお力添えに心から感謝を申し上げる次第でございます。

今年は津幡町合併70周年を迎える、来年4月には式典が行われる予定になっておりますが、大相撲の津幡場所や森林公園での行事など、今年はいくつかの行事が行われました。色んなイベントを実施しながら、その70周年を町民の皆様と一緒にになって全体でお祝いし、その総結集が来年4月の式典になるのであろうと思っております。

合併70周年に当たる今年も色々なことがございました。まず、私が個人的に一番楽しみにしているのは津幡駅の東口でございます。今年度には、上の連絡通路が繋がると聞いております。現時点では、まだ土台の部分しか出来上がっておりませんが、来年度3月末には完成をすると聞いております。

合わせて東口の整備も行われますし、さらに東口から旭山工業団地に向けての道路を計画しております。私は、この工事の完了を大変楽しみしております。どのようなまちづくりになるのか、まさに皆様のお力にかかっていると私は思っておりますので、その旨ご理解をいただきまして将来の津幡町のために、将来の単独市制を目指す津幡町のために、皆様の英知を結集し、津幡駅東口の整備に取りかかっていただきたいと思っております。

そして、今年も若い方々が大変元気な姿を見せてくれました。まずは横綱大の里でございます。親入幕からわずか9場所で横綱に昇進をいたしました。来月11日から始まります初場所は九州場所での怪我の影響が心配ですが、何とか元気に出場できると言われているようでございますので、安心しておりますが、少し心配もしながらの初場所になるのかなと思っています。

また、大の里を追いかけている欧勝海については、先日福祉センターで化粧まわしの贈呈式が行われました。また、津幡町の広報特使にも任命させていただきました。鳴戸親方が、初場所で場合によっては大の里との対戦が見られるかもしれないというような言い方もされておりました。私は年内には少なくとも結びの一番で大の里対欧勝海の相撲が見られることを確信しております。どうか皆様も両力士をしっかりと応援していただきますようよろしくお願ひいたします。

会場で石川県津幡町出身の放送が流れると本当に胸が熱くなる、そんな思いをしているところでございます。

それから 星稜高校に今年入学しました、走り幅跳びの藤本茉優さんにつきましても、全中で2連勝して、今年も国体で優勝しました。大変樂しみな生徒でございますし、これから更に成長して欲しいと思います。ローイングの首田選手も頑張ってこれから良い成績を残しながら、オリンピックを目指して欲しいと思っております。

とにかく若い人が元気な津幡町で、そして、元気な人たちは皆スポーツの選手でございます。スポーツの強い町は元気があると昔から言われております。皆様には津幡町の機動力になっていただいて、素晴らしい町、そして町民の力になつていただきたいなと思っております。

明日から 9 日間も休みが続くようでございますので、暴飲暴食は止めていただいて、1月 5 日には元気なお顔を見せていただきますようお願いをいたします。1年間本当にご苦労様でございました。ありがとうございました。